

はじめに

本書は、**基本情報技術者試験**の合格を目指すみなさんに、**過去問題のすべてとその攻略法**を、これまでにない画期的な手法で解説する書です。対象とするのは、午前と午後の試験のうち、幅広い分野から基礎的な知識を問う〔午前試験〕です。

その午前試験は、**過去問題と同一の問題、あるいは多少手を加えただけの問題が、大部分を占めます**。とはいえ、前回や前々回に出題されたばかりの問題からの流用は、ほとんどありません。流用の多くはおおむね2～5年くらい前の問題から行われます。それどころか7～8年前の問題が、ほぼそのままの形で出題されることもあります。

したがって、直近の数期分の試験問題だけを出題期順に並べて解説する〔従来型〕問題集は、流用されそうな問題をわざわざかき含んでいません。

そもそも、系統的に学習するためには、問題は出題期別でなく**分野別**に並んでいなければなりませんし、合格への近道を歩むためには、各分野の**出題頻度**が分かるようになっていることが望まれます。

*

本書は、現在の試験スタイルが確立した平成6年度秋期から平成15年度秋期までの19期分の午前試験1520問すべてを徹底的に解説します。もともと、紙媒体ですとページ数も限られますので、すべての過去問題と詳細な解説は〔付属ディスク〕に収録しています。本文では、必ず知っておかなければならない基礎知識、学習のツボ、頻出分野に絞り込んで解説します。

付属ディスクの解説は、『出題期別』、『分野別』、『出題頻度の高い問題限定』など、いろいろな方法で閲覧できます。どの分野が、どのくらいの頻度で出題されているかも一目で分かります。

みなさんの受験目的や、これまでの学習状況に応じて、たとえば、

『頻繁に出題される分野の問題を徹底的に解いてみる。』

『不得意な分野の過去問を重点的に学習する。』

といった具合で、柔軟かつ多角的に学習できます。もちろん、画面で見ただけでなく、プリンタで印刷して、じっくり読んでもいいでしょう。

*

本書と付属ディスクは、**過去問題の**^{たからばこ}〔宝箱〕です。これらをフルに活用して、基本情報技術者試験合格に向けた学習を始めてください。

平成16年5月

柴田 望洋

本書の構成

本書は五つの章から構成されます。

第1章 基本情報技術者試験とは

まずは敵を知ることが肝要です。基本情報技術者試験の出題範囲や出題形式などをしっかりと把握しましょう。

第2章 こんなに過去問題が流用されている！

基本情報技術者の午前試験は、過去と同一の問題、あるいは少し手を加えただけの問題が大部分を占めます。平成15年度秋期の試験問題を例に、いかに多くの過去問題が流用されているかを示します。過去問題を学習する重要性を、しっかりと理解しましょう。

第3章 学習のツボ

試験に合格するためには、いわゆる学問として一通り学習するだけでは駄目です。出題の傾向や特徴を知っておかなければなりません。最低限知っておくべき事項や、合格のための学習のツボを押さえましょう。

第4章 超頻出分野

頻繁に出題される分野を詳細に解説します。どの分野がいつ出題されたのかが一目で分かる表も示しています。ここで解説する分野を制覇せずして合格することはありません。しっかりと学習して、頻出分野の基礎を身に付けてください。

第5章 付属ディスクの使い方

平成6年度秋期から平成15年度秋期までの19期分の午前試験1520問すべてを徹底的に解説する〔付属ディスク〕の使い方を紹介します。問題と解説は、出題期順だけでなく分野別でも閲覧できますし、本文の第2章～第4章と連動した形での閲覧もできます。付属ディスクを“学習の友”にしてください。

※〔付属ディスク〕では、出題年度別や分野別で、1520問の過去問題が学習できます。さらに、本文の第2章～第4章と連動した形でも過去問題の学習ができるように工夫しています。ディスクを利用しなくても解答が分かるように、本文中で示している過去問題の解答一覧をp.193～196にまとめていますので、こちらもご利用ください。